

# どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

3月号(NO54)通巻 204号

2023年3月10日(金)発行(毎月10日)

【農暦】彼岸前にはじゃが芋種を植え込みたいと思う！

○今日の陽射しは一段と強いものがある。弱弱しさはない。いよいよ春かとおもう。やはり寒い辛い。昨日(6日)は啓蟄だった。オイヌノフグリ、ホトケノザの花があちらこちらに咲き始めている。鶯が鳴き始めている。何となく気持ちが前向きになれるような空気をを感じる。予報では、しばらくは温かい日がつづきそうである。梅は満開で、ジュリアンの花がクリスマスローズが咲いている。よく見ると芽吹きが一斉に始まっている。



<紅梅> 5日撮影

○「はこべらや焦土のいろの雀ども」石原波郷が東京大空襲の一年後に詠んだ句が天声人語にあった。大空襲による死者10万人、焼失家屋は27万戸といわれる。焼き尽くされた大地にハコベが芽吹き、白い花が咲く春先にスズメがついばむ光景が目につく。ハコベはヒヨコクサとも呼ばれ小鳥の好物だという。東京大空襲は78年前の3月10日だったのだ。

○7日の新聞に、トルコ・シリアの地震一ヶ月後の瓦礫の写真があった。ウクライナは泥沼化の映像ニュースが続いている。トルコ・シリア地震の死者は5万2千人になるという。自然災害も大変だが、戦争は人災そのものである。火に油ではなく、停戦一平和で止められる。東京大空襲は一夜にして死者10万人である。恐ろしい。ハコベをついばむスズメの光景をみたいものである。一刻も早く元の大地にと思う。

○ここ数日の暖かい日が続いている。畑は凍土でリセット状態から解放され、芽吹きが始まっているようである。まさに啓蟄である。菜園の整備の時と思っていたがあつという間に2ヶ月が過ぎてしまった。いろいろなことが続いたが、これからは農作業に注力したいと思っている。



<耕起> 3日撮影

○篠だけ、剪定枝などの菜園の整備を継続しながら、彼岸前にはじゃが芋種を植え込みたいと思う。いよいよ農作業は本番である。(了)

【楽農】<畑>篠だけ刈りと処分。鶏糞・石灰の散布、耕起など。ネギ苗の植込み。

【楽市】イベント等；詩吟例会(16日)地元クリーン活動

(25日)トモアまつり川柳の会展示、共生の会で川柳でジェンダー啓蒙(26日)飲み会(27日)バードゴルフ大会、川柳の例会(2日)\*20日MRI検査は特に異常なし。\*\*イベントや用事などで笠間不在の多い一ヶ月であった。

**【つぶやき=Tweet】 マスコミが変だ変だと思っていたが！**

○8日は国際女性デーであった。朝日に Think gender ジェンダーを考えるが特集されていた。世界各国の男女間の平等について調べた調査で、日本は146か国中116位でした。去年の156か国中120位よりは順位を上げたものの、政治参加や経済の分野で依然として大きな格差があると指摘されている。日本の女性の政治参加と経済格差は遅れたままである。

○8日の朝日川柳に「降板のキャスターたちを思い出し」があった。高市大臣、怪文書じゃあなく行政文書でした。を詠んだものである。同じ紙面に、急接近の行く末は・・・連合の芳野会長と岸田総理の戯画があった。高市大臣、芳野会長はジェンダーフリーの後進国を象徴している存在に見えてしまう。男女格差を無くす側の存在であって欲しいと思うからである。



＜クリスマスローズ＞5日撮影

○川柳で“参画でふえた非正規格差ふえ”“女性議員ジェンダーやらず不信ふえ”を先月詠んでいた。芳野会長には自民党に接近より女性の賃金格差と戦って欲しい。高市大臣はジェンダーフリーのために政治を変える働きをして欲しいのである。そんな思いを詠んでいたのである

○同じ紙面に、放送法文書総務省作成高市氏、改めて「捏造」主張の見出しを見てやはりと思った。マスコミが変だ変だと思っていたが悪い意味で納得できた。想像以上に悪いものが進んでいると怖さを感じる。マスコミは政権チェック機能を持たないと民主主義が機能しなくなる。翼賛世論が作られてしまう。“戦争前の世論”が進んでいるようで怖い。

○別の Think gender 特集に、ウクライナ増える女性兵の見出しに、15～25歳対象調査で女性の58%が「女性にも男性と同様に徴兵制を設けるべきだ」と答えたという。約6万人の女性が軍に所属しており倍増しているという。「その時々政治的の思惑あり女性が（戦意高揚など）利用される可能性ある」と女性兵士の「ヒロイン」扱いに警鐘を鳴らす。とある。同じ面にスペインのサンチェス首相は閣僚男女とも「四割超に」の法案を閣議決定した。下院議員44%上院議員39%が女性だ。とあった。



＜ジュリアン、庭先に＞5日撮影

○日本の女性活躍・働き方改革が労働力不足対策の女性の安価な労働力の供給という役割があったとすれば、本来のジェンダーフリーには繋がらない。女性の賃金格差を見れば不問には出来ないことである。ジェンダーフリーの推進の成果もあるが課題も多い。日本の男女共同参画の推進には問題が多いし遅れている。また根深いものがある。政治の貧困はいろいろものを悪くする。貧困と格差社会の米国への追従政治だけはそろそろ止めて欲しい。(了)

○断捨離考：雑物増殖かな再考要。

**【後記】差別・格差・貧困は諸悪の根源かなと。  
温暖化対策にも繋がる。 【HP転載】**

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com